

秋田市医師会ニュース

発行 一般社団法人 秋田市医師会

新型コロナウイルス感染症に関する情報について

本会では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する情報について、速報性が高いと思われる情報は「Fネット通信」を通じて会員の皆様にお知らせし、行政や日本医師会などからの受理文書をはじめ、「秋田県医師会新型コロナウイルス感染症対策本部からのお知らせ」については、本会ホームページの会員専用ページに随時掲載しておりますので、会員の皆様におかれましては、適宜情報収集くださいますようお願いいたします。

社保コーナー

人工知能は電気レセプトの夢をみるか？

副会長 石川 達哉

昨年の社保だよりで書かせていただきましたが、国保のシステムが都道府県単位に再編されたのに引き続き、社保においても法改正に基づきここ数年で支部の集約化や、審査事務センターの設立、コンピュータ化された全国一律の審査基準への統一の流れなどに伴い、大きく変化するだろうと予想されています。こういった変革が必要とされた要因には財政の逼迫があるわけで、社会保障費の増大に向けてどういった対処をしていくかについては簡単な合意の得やすい解決策がない問題になっていることは報道などを見ても明らかです。確かに社保のシステムというのは年を経るごとに複雑怪奇で、人手のかかるものになっています。情報化の進歩というインフラを利用すると、同時に請求や審査・支払いにかかわるいろいろな非合理性や無駄を省こうということも、社保・国保のシステムが変わっていくことに関係しているでしょう。



社保支払基金が出している『月刊基金』の1月号の「審査委員長に伺いました。」という記事の中で、東京都の久岡英彦先生が次のように述べられており、感銘を受けつつ拝読しました。「(前略)私の昔からのキャッチフレーズは「美しいレセプト」です。これは診療報酬の請求に対する一つの考え方であり、先生方が診断・治療していることが手にとるようにわかるレセプトを「美しいレセプト」と言っています。疑い病名ばかりあって、どういう考えで診断・治療したのかよくわからないようなレセプトは美しくありません。だから、「美しいレセプト」をつくるために診療担当者の方たちも努力しないとイケませんし、支払基金法の改正とともにわれわれもしっかり取り組んでいかななくてはなりません。(後略)」

科学的な合理性に満ちた簡潔な医療が行われればそれは理想的であり、私もそういった診療を行いたいと願っています。しかし、日常診療における患者さんの不安や、医療を提供する側の感情や事情、保険診療に組み入れられていないエビデンスや医師の経験、自然科学の宿命としての揺らぎとしての不確実性、そういったものを単純な形でレセプトに表現することは実際には難しい状況です。今は表現手段は症状詳記やコメントしかありませんが、AIはきちんとそれらにこめられた医療者の思いや事情を拝察してくれるのでしょうか。ファジーな合理的でない情報は、雑音として切り捨てられることで、保険制度の存続に寄与するのでしょうか。

今のところは人工でない知能がやっていますので、必要と思われた場合はぜひ経過や理由・根拠のわかる詳記をお願いいたします。

【東北厚生局からのお知らせ】

令和2年度 診療(調剤)報酬改定時集団指導の開催中止について

2月20日、東北厚生局秋田事務所長から秋田県医師会を通して、下記の日程で開催を予定していた標記について、**今般の新型コロナウイルス感染症の発生状況に鑑み、中止を決定した旨の連絡がありましたので、お知らせいたします。**

なお、改めて東北厚生局から各医療機関に通知が発せられるとのことです。

開催日・場所 区分・時間	令和2年3月18日(水)	秋田市文化会館
	医科(病院)	14:00~16:20
	令和2年3月19日(木)	秋田市文化会館
	歯科	13:00~14:30
	医科(診療所)	15:20~17:40
	薬局	18:30~20:00

【ご案内】 第35回 総合診療カンファランス

日 時：令和2年2月28日(金) 午後5時15分~午後7時

主 催：秋田県総合診療・家庭医研修センター

場 所：秋田厚生医療センター 2F 研修センターカンファランスルーム

対 象：すべての医師・医療スタッフ 参加無料

テーマ：Portfolio in progress & brush up seminar ポートフォリオを書こう！

【発表】

秋田厚生医療センター 専攻医 駒形友康 先生

秋田厚生医療センター 専攻医 伊藤善昭 先生

【GP Seminar】

自治医科大学地域医療センター 准教授 三瀬順一 先生

【オブザーバー】

王子生協病院 家庭医療専門医 漆畑宗介 先生



※日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医研修講座〔1.5単位申請中〕

※日本プライマリ・ケア連合学会 認定薬剤師研修講座〔1単位申請中〕

※日本医師会生涯教育講座〔1.5単位申請中〕

今回は家庭医、総合診療医研修プログラムにおける最大の特徴の一つである「ポートフォリオ」について学びたいと思います。王子生協病院から漆畑先生、自治医科大学から三瀬先生をお迎えしての勉強会です。

皆様のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ先

秋田厚生医療センター 総務管理課

TEL 018-880-3000

E-mail: akikumi@akikumihsp.com

【 お願い 】

秋田市地域包括ケアシステム参加医療機関ステッカーの貼付について

本会では、平成28年度に秋田市および秋田市三師会と連携して、各医療機関長の皆様あてに「秋田市地域包括ケアシステム」への参加と併せて、標記ステッカーを作成配布し施設窓口等への貼付をお願いしておりました。

先般、秋田市が地域包括ケアシステム推進の一環として「高齢者の困りごとや医療、介護の心配はありませんか？」のリーフレットを作成して市民向けに配布したところ、同リーフレットに記載されている秋田市地域包括ケアシステム参加医療機関に関する問い合わせを受けた旨のお話をいただきました。

本会としては、今後とも、地域包括ケアシステムの構築を積極的に推進していくこととしていることから、会員の皆様には、改めて同システムへのご理解とご協力をお願いするとともに、市民にとって、地域包括ケアシステムに参加・協力している医療機関として分かりやすい目安となる標記ステッカーの貼付へのご協力も併せてお願いいたします。

なお、秋田市から委託を受け、現在、本会で事業運営している「秋田市在宅医療・介護連携センター」が、現在、秋田市内における医療・介護資源を把握するため関係事業所等の詳細情報の調査を行っておりますが、改めて、地域包括ケアシステムへの参加協力の可否並びに表記ステッカーの貼付状況等について、各施設の窓口等にお問い合わせさせていただく予定ですので、その際には、よろしくご対応いただきますようお願いいたします。



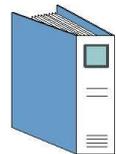
秋田市地域包括ケアシステム参加医療機関の役割

困っている高齢の患者さんやその家族から相談があった場合、在宅医療や介護サービスを実施している医療機関であればこれまで通り自院で対応いただき、そうでない医療機関は患者さんの居住地の地域包括支援センターに連絡し、対応を依頼することです。

【 受理文書 】

周知文書等について

本会ホームページの会員専用ページに周知依頼のあった受理文書(下記は抜粋)を随時掲載しておりますので、適宜ご参照くださいますようお願いいたします。



《会員用文書情報》 (抜粋掲載)

R2. 2. 19-新型コロナウイルス感染症に関する行政検査について
R2. 2. 19-新型コロナウイルス感染症に係る医療法上の臨時的な取扱いについて
R2. 2. 19-新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて
(重要)R2. 2. 19-秋田県医師会新型コロナウイルス対策本部よりのお知らせ3
(重要)R2. 2. 18-秋田県医師会新型コロナウイルス対策本部よりのお知らせ2
R2. 2. 17-新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対策の見直しについて
R2. 2. 17-秋田県臨床内科医会研修会資料(新型コロナウイルス対策)
R2. 2. 17-学校保健に係る新型コロナウイルス感染症への対応について
R2. 2. 17-「帰国者・接触者相談センター」及び「帰国者・接触者外来」の更なる充実について
(重要)R2. 2. 14-秋田県医師会新型コロナウイルス対策本部よりのお知らせ1

R2. 2. 14- (秋田県医師会dayroomより掲載) 新型コロナウイルス感染ガイド 2020. 2. 13版. COVID-19_taioguide1
R2. 2. 12- 「定期の予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正 について (通知) 秋田県健康福祉部長
R2. 1. 23- 母子健康手帳の任意記載事項様式について

《**社保関連情報**》 (抜粋掲載)

令和2年度における診療報酬等及び出産育児一時金等の支払日について (R2. 1. 28 基金)

- 【**閲覧手順**】 ① 本会ホームページ <http://www.acma.or.jp> 画面右下の**会員専用ログイン**をクリック。 ID akita05 パスワード psd600
② **会員用文書情報** または **社保関連情報** をクリック

【 **ご案内** 】 2020年度 日本医師会「**医療安全推進者養成講座**」
受講者募集のご案内

2015年10月より医療事故調査制度が開始されるなど、医療機関においては、合理的かつ適切な安全管理を実施するために、実践的な知識と技術を身につけた人材を育成・確保することが重要となってきております。本講座は、医療事故や紛争の背後にある本質的な問題にアプローチできる人材を育成・養成することによって、組織的な安全管理体制の推進確立を図ることを目的としております。



標記講座の詳細、受講申込等は、下記のURLをご参照願います。

日本医師会医療安全推進者養成講座ホームページ
<http://www.med.or.jp/anzen/kz/20entry/index.html>

【 **会員の異動** 】

区分	氏名	前勤務先等	異動先等	所属班
退会	伊藤千鶴	秋田市保健所	R2. 3. 31	山王八橋班
入会	大村範幸	仙台赤十字病院	R2. 1. 1 秋田赤十字病院	赤十字病院班
〃	佐藤朗	秋田大学医学部附属病院	R2. 1. 1 秋田赤十字病院	赤十字病院班

【 **3月行事予定** 】

2 (月)	第1回消化器がん検診委員会 (18:45)	10 (火)	第1回子宮がん検診委員会 (18:45)
3 (火)	秋田看護学校卒業式 (13:30 秋田キャッスルホテル)	11 (水)	秋田市三師会合同委員会 (19:00 藤の家)
4 (水)	認知症対策研修会 (18:30 秋田市老人福祉センター)	12 (木)	第21回理事会 (18:30)
	第12回会報編集委員会 (18:45)	16 (月)	第1回側わん症小委員会 (19:00)
5 (木)	第7回理事会運営会議 (18:30)	17 (火)	第1回福祉厚生委員会 (19:00)
6 (金)	第1回財務委員会 (18:45)	19 (木)	自殺予防対策研修会 (19:00 秋田市老人福祉センター)
8 (日)	第42回医療を考えるつどい (13:00 秋田ビューホテル)	24 (火)	乳がん検診研修会 (18:15 秋田県医師会館)
9 (月)	秋田産業保健総合支援センター 秋田地域窓口運営協議会 (18:30)	26 (木)	第22回理事会 (18:30)